

車種別によるイージーフィッティングながら 品質と低価格を両立させる

ヒカリモノメイクで欠かせないHIDやLEDを低価格でリリースするクルーズ。
その製品作りに対するスタンスと低価格の秘密を聞いてみたい。

写真・小林康雄 文・池上孝宏 (31歳)

低価格でも品質を求めるのは
実際のユーザーを考えるから

アフターパーツのHIDでは大手の国内ブランドが多数を占める2003年に「もう少し安くできないだろうか」というトコロから始まったというクルーズブランド。

単純に言えば生産を海外で行うことによりコストを抑えているのだが、それ以外に開発としてコストのかかる車種別キャンセラーの開発や方式を工夫することにより、最終的な単価を抑えることに成功しているのだという。また、今回お話を伺ったクルーズの斉藤さんは、価格を抑える理由として欧米への海外輸出を多く行っているため、「海外でも低価格は重要で、現地の人でも買いやすい価格に抑えていることも理由です」と話してくれた。

そしてクルーズ製品の大きな特徴として車種別による製品設定も重要なポイントだ。VW・BMW・メル



斉藤 潤さん

↑今回お話しを伺った営業本部の斉藤さんは、国産・輸入車を問わずスタイルアップ好き。かつての姉妹紙af-zaステージの復活を熱望する人物

製品に対してクオリティを求めつつ、それでもなお、使用するユーザーの立場に立って低価格なHIDキットの開発を続ける、それがクルーズというブランドの姿勢だ。

また製品の品質についても安全性などを考慮した構造としているのもポイントだ。HIDでは高電圧がかかるためバラスト内は防振・防水も含めてセメントで満たされていたり、車種別によるカプラーオンでのイージーフィッティングもそのひとつだ。また、バラストから発生する電磁波がラジオにノイズとして出ることもあるので、それを除去するキットも含んでいるのだという。

セデスなど多くのメーカーから販売されている車種ごとに製品を開発しており、いずれも配線を通す穴の加工をする程度で、カプラーオンでの装着ができるようにされている。メーカー別では主にVW系車種の開発に力を入れており、「メーカーとして2番煎じになりたくない」という気持ちからVWでは一番先に製品がリリースできるような体制を整えているという。特に最新ではHIDがセットオプションでしかないゴルフV TSI用をいち早くリリースしていたのもその証明と言えるだろう。



VWゴルフV用T10ワイドLED (T10×37mm・2個/set) ¥8,000
↓VWゴルフV用ライセンスプレート用のLEDは裏面に大型の放熱フィンを設ける。もちろん回路にはキャンセラーも内蔵

VW用 T10バルブ ¥8,000 (2個/set)
↑4面にLEDが内蔵されたポジション用バルブ。バルブが目立たないよう表面にコーティングも施される



VWゴルフV用ライセンス用LED (年内発売予定)
↑こちらは開発中のVWゴルフV用のナンバー灯。バルブだけでなく、防水も考えたゴムのコネクター部分までセットする予定なので要チェック

CRUIZE

問●ハートネット TEL.0570-06-4147
http://www.heartnet.info/



VWゴルフV用 HIDキット (35W・4300k) ¥45,000



スリムライセンスプレートボルト (8mm/12mm/16mm・3本/set) ¥1,500
スリムライセンスプレートボルト (20mm・2本/set) ¥1,000
↑ヒカリモノとは違うが、スタイルアップのためのナンバーボルトも4種用意する

←こちらはVWゴルフV用のHIDキット。穴開け加工用のホールソーまで同梱するが、製品を安全に使用するために、やはりプロに装着を依頼した方がよい